



投宿した「土の家」

ある時には雨宿りになるガシユマルの木の下で子供たちが実家のように、また大きな家族のように生活し続けようという理念がある。  
テレビはないがWiFiも通じ、自炊もできる清潔なゲストハウスに投宿し、鳥のさえずりや虫の音に癒され、時々「安

否確認」に来てくれる「タラちゃん」はじめ数匹の猫と戯れるのもよい。  
チェンマイからソントオ（乗合自動車）と地元バイクタクシーを乗り継いでぜひ訪れてもらいたい。

## 2017団結ボウリング大会&交流会

- 日時 7月2日（日）午前10時～
- 会場 弁天町グランドボウル（オーク1階）
- 申込締切 6月26日（月）
- ※※ 詳細はもちつき実行委員まで

### 港区探索

大阪で初めて市電が走った港区

大阪市内から市電が完全に消えたのは一九六九年ですが初めて走ったのは一九〇三年。その地は港区だったとか。

その年、築港大棧橋が完成、花園橋（今の九条新道）からの間、約五キロを走りました。停留所は一〇か所、片道二六分、定員は四二人。市電が走る前の港区はのどかな風景の中に築港大道路（今のみなと通）がつくられ、その真中に市電の線路が引かれました。

築港大棧橋は海外貿易のために造られました。完成したての頃は大型船の利用が少なく、代わりに夕涼みと魚釣りの市民で賑わいました。市電もそうした市民がよく利用し、運転台の前に釣竿入れを取り付けるサービスをしたので「うお釣り電車」とも呼ばれました。

市電が廃止されバスと共に住民の足となってきた地下鉄。弁天町駅は一九六一年に開業しました。橋下維新はバス路線を大幅に廃止し、後継の吉村が三月議会で黒字地下鉄の民営化をついに決定。地下鉄もバスも市民の財産。勝手に処分するな!!

組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう！